

町田市公共施設再編計画の策定状況について(中間報告)

2016年3月に策定した町田市公共施設等総合管理計画(基本計画)に沿って、公共施設の見直しを着実に実行するため、2016年度と2017年度の2年間で町田市公共施設再編計画の策定を進めています。その前半の1年が終了することから、策定状況について中間報告をいたします。

■計画の構成・期間

	計画の構成	期間	数値目標
I 長期	施設保全プラン	2018年度～2055年度 (38年間)	現在市が保有している施設を健全な状態で維持していくために必要な費用と、今後支出可能な維持管理費用の差額
	施設機能毎の方向性と取組		
II 短期	第1期 再編プログラム	2018年度～2026年度 (9年間)	上記のうち9年間分

■策定の経過

公共施設再編計画の策定にあたっては、庁内において、公共施設の利用状況や建物の耐久状況の把握等に努めるとともに、学識経験者や市民団体、公募市民で構成する公共施設再編計画策定検討委員会を設置したほか、市民センター等の利用者アンケート等を行いました。

〔公共施設再編計画策定検討委員会〕

- ・ 実施時期:2016年11月～2017年2月(3回)
- ・ 委員構成:学識経験者4名、市民団体等の代表5名、公募市民2名 計11名

〔公共施設再編計画策定庁内検討委員会〕

- ・ 実施時期:2016年10月～2017年2月(4回)
- ・ 委員構成:両副市長、教育長、各部長、営繕担当部長 計22名

〔公共施設に関するアンケート調査〕

- ・ 実施期間:2016年11月29日から年12月12日
- ・ 実施箇所:市民センター6か所、コミュニティセンター6か所、連絡所5か所、市民フォーラム(計行政窓口11か所、貸出窓口13か所)
- ・ 実施方法:窓口にてアンケートを配布し、回収箱への投函により回答を受けました。
- ・ 回収枚数:配布2,400枚中、回収1,880枚(78.3%)

■公共施設再編計画策定検討委員会における検討の概要

第1回(2016年11月8日)

現在の状況と課題、再編にあたっての基本的な考え方、施設機能毎の実態と課題

第2回(2017年1月17日)

再編にあたっての考え方、機能毎の方向性と将来のイメージ

第3回(2017年2月16日)

機能毎の方向性(総括)

〔委員からの意見(抜粋)〕

- ・市民、行政それぞれの考え方を変える必要がある。本当に行政でやらなくてはいけないものは何か。量の改革と質の改革が必要。(第1回)
- ・地域において、学校がどのような存在となるのか。これからの子どもたちに刺激を与えられるような学校になっていくことが重要。(第1回)
- ・施設を複合化していくことは、庁内の各部署を横割りで考えていく必要がある。(第2回)
- ・町田市は細長いので特に地域差がある。地域特性、地域ニーズも酌みながら複合化を実現していけるか。(第2回)
- ・市の財政や将来の人口構造を考えれば、このまま施設を維持するのは無理であるので、それを理解してもらった上で、どのように建物総量を圧縮していくか、市民に問いかける必要がある。(第3回)

■今後の進め方

- ・策定検討委員会の開催:2017年4月~2018年3月(5回程度)
- ・市民意見募集(施設機能毎の今後の方向性、時期毎の取組):2017年7月予定
- ・市民意見募集(第1期再編プログラムを含む再編計画案):2018年1月予定

このほか、最初の市民意見募集に合わせ、広報特集号の発行や市民説明会の開催等を予定しています。

また、再編プログラムの検討にあたって、建物(躯体)の健全性調査を実施します。

<別添資料>

資料1 施設機能毎の今後の方向性を定めるにあたっての考え方

資料2 施設機能毎の今後の方向性(案)

2016年3月に策定した「公共施設等総合管理計画（基本計画）」では、これまでと大きく異なる社会環境においても、財政的な理由から単に施設を縮小・削減していくのではなく、経営的な視点にたつてこれまで以上の効率化を図るとともに、将来にわたって必要なサービスの維持向上や新たな価値を付加することで都市の魅力を高めていくため、公共施設等の総合的かつ計画的な管理を推進するための基本的な方針を定めました。

再編を進めるにあたって、将来を担う世代に負担を負わさないため、経営的な視点を持ってこれまで以上に徹底した効率化を図ることはもとより、これからも町田市が豊かで魅力ある都市であり続けるために、いかに時代に見合った新たな価値の創出を実現していけるかが重要です。

- 人口減少
- 少子化・高齢化の進展
- 高度成長期に整備した多量の建物の老朽化
→ 財源不足

- 価値観・ニーズの変化
- 都市間競争に負けない
「選ばれる・選ばれ続ける」
- 「住民の福祉の増進を図る」

〔基本計画〕目指す姿

経営的視点

無駄のない徹底した運営コストのスリム化と、サービスの内容・価格・提供主体・財源調達方法の適正化など、時代の変化に対応した自治体経営

新たな価値の創出

建物整備を軸とした考えから脱却し、多様な主体とともに、いかに人々が交流し、多様な活動を生み出していくかということを重視することで、新たな魅力を創出

将来を見据えた長期的な視点
前例踏襲ではない発展的な考えや取組

〔基本計画〕基本方針

- 施設総量の圧縮
- ライフサイクルコストの縮減
- 官民連携によるサービス向上
- 既存資源の有効活用

再編における今後の方向性

将来の町田を担う世代に負担を負わせることなく、都市としての魅力を高めていくためのあり方。
基本方針に基づく具体的な取組をどのように実施していくのか。

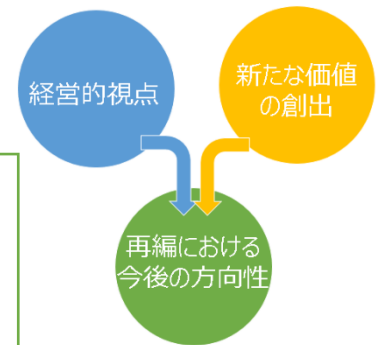
〔基本計画〕取組

- 集約化
- 複合化・多機能化
- LCC削減
- 長寿命化
- 市民・地域連携
- PPP/PFI
- 他自治体連携
- 市有財産活用
- 民による公共・公益サービス

● 施設機能毎の今後の方向性（案）

将来にわたって公共施設を適切に維持管理していくためには、施設総量の圧縮は必須であるため、人々の暮らしや命に直結する施設や防災、医療施設等の一部を除き、原則として再編により市が維持・管理を行う建物の総量を削減します。

一方で、将来を見据え、次の世代にも引き継げる公共施設のより良いかたちを実現するため、再編における施設機能毎の方向性は、建物総量の削減を始めとした経営的な視点からのコスト削減等の実現だけでなく、新たな価値やサービスを創出することができる場の創造など、これからも町田市が都市としての魅力を維持していくことを目指します。



再編における施設機能毎の今後の方向性は、「公共施設等総合管理計画（基本計画）」で掲げた9つの取組のうち、各機能で特に重点的に実施する取組及びその取組によって実現する再編の効果についてまとめたものです。

※ 経営的視点（総量圧縮によるコスト削減等）に関する部分には青色下線、新たな価値の創出など公共施設・公共空間のより良いかたちにつながる部分には黄色下線を引いています。

※ 9つの取組の効果等については、「【参考資料1】手法の説明」を参照してください。

機能分類	再編における施設機能毎の今後の方向性	参考	
		建物総量圧縮を実現する主な手法	機能の向上等のより良い効果につながる主な手法
庁舎・窓口施設等	集約化により建物の総量を圧縮する一方で、維持する建物については、複合化・多機能化や長寿命化により地域拠点としての機能強化を図る。	集約化	複合化・多機能化
防災施設	災害から市民の生命を守るための施設として、適切に維持していくために長寿命化する。既存施設を有効に活用することで不足する防災施設を充足する。		
文化ホール施設	集約化により建物の総量を圧縮する一方で、建物の長寿命化や民間ノウハウを効果的に取り入れ、施設の一層の有効活用等により、文化芸術に関する活動の場の維持や活性化を図り市の魅力を向上させる。	集約化	PPP/PFI
集会施設（市民センター・コミュニティセンター）	集約化や複合化・多機能化により建物の総量の圧縮や地域の活動拠点の強化を図るとともに、管理運営手法等の見直しを実施することで、新たな交流や活動の場を維持し、豊かで持続可能な地域社会づくりを進める。	集約化/ 複合化・多機能化	複合化・多機能化
その他集会施設	地域の自主的な維持管理に移行することで、町内会・自治会が所有する集会施設と同様に、効果的・効率的な運営を目指す。	民による公共・公益サービス	民による公共・公益サービス
図書館	集約化や複合化・多機能化により建物の総量を圧縮しつつ、地域の活動拠点に機能を移転することで、本に触れ親しむ機会や本を通じた交流の機会を増やす。また、市民等の活力を活かした図書に関連した新たなサービスにより図書に親しむ機会や場の充足を目指す。	集約化/ 複合化・多機能化	複合化・多機能化/ 民による公共・公益サービス
美術館・博物館等	集約化や複合化・多機能化により建物の総量圧縮や施設の魅力の向上を図る。また、アトリーチ展示等により文化や芸術等に触れる機会を増やす。	集約化/ 複合化・多機能化	集約化 市有財産の活用
生涯学習施設	施設の複合化・多機能化を図ることや特定用途に限定された施設の廃止により建物の総量を圧縮する一方、地域での事業展開により、身近な場所で生涯学習に触れられるようになる他、市民が学習を通して得た知識や技能を地域で活かすことで、地域の活力が生まれる。	複合化・多機能化/ 多機能化	複合化・多機能化/ 市民・地域連携
その他展示等施設	文化財は適切に維持保全していく一方、その他の展示施設は市有財産の活用により建物の総量を圧縮する。	市有財産の活用	市有財産の活用
学校	児童生徒数の減少に対応した学校の適正規模・適正配置を行うことにより、建物の総量圧縮を図る。また、他機能との複合化・多機能化や建物の長寿命化により多様な人々が交流し活動する場を維持することで、愛着ある地域拠点施設としての醸成を図る。	集約化/ 複合化・多機能化	複合化・多機能化

機能分類	再編における施設機能毎の今後の方向性（総括）	参考	
		建物総量圧縮を実現する主な手法	機能の向上等のより良い効果につながる主な手法
その他教育施設	市有財産として積極的な活用を図ることで、 <u>新たなサービス機能を提供する場</u> や <u>収入源とする</u> 。	市有財産の活用	市有財産の活用
医療施設	市民の生命を守るための施設として、効率的かつ適切に維持していく。		
高齢者福祉センター	<u>地域の活動拠点となる施設へ機能を移転</u> することで、 <u>建物の総量圧縮</u> を図るとともに、 <u>身近な場所</u> でより多くの人がサービスを受けられる機会を増やす。	市有財産の活用	市有財産の活用
その他高齢者福祉施設	<u>民間によるサービス提供</u> への移行や、 <u>複合化・多機能化</u> 、 <u>市有財産の活用</u> 等で <u>建物の総量圧縮</u> を図る。	民による公共・公益サービス	民による公共・公益サービス
障がい福祉施設	<u>市有財産の活用</u> のほか、 <u>民間によるサービス提供</u> の活用や <u>民間への移行</u> 等により <u>建物の総量圧縮</u> を図りつつ、 <u>公共の福祉施設に限らず障がいのある人とない人がともに育ち、働き、暮らすことができる場を維持</u> していく。	民による公共・公益サービス	民による公共・公益サービス
保健施設	<u>集約化</u> や <u>市有財産等の効果的な活用</u> により <u>建物の総量圧縮</u> や <u>施設利便性の向上</u> を図る。	集約化/ 市有財産の活用	集約化
市営住宅	適正かつ効率的な維持管理を行い、建物の大規模改修や建替えの際は、社会状況に合わせた更新をする。		
保育園・児童発達支援センター	<u>複合化・多機能化</u> により <u>建物の総量を圧縮</u> しつつ他機能との連携をさらに深めることでより <u>魅力的な場づくり</u> や <u>充実した支援</u> を行う。	複合化・多機能化	複合化・多機能化
子どもセンター・子どもクラブ	<u>複合化・多機能化</u> や <u>市有財産等の活用</u> により <u>建物の総量を圧縮</u> する一方、他機能との連携をさらに深めることで、 <u>子どもの地域への愛着を育む健全育成と乳幼児の子育て支援の場の維持</u> や <u>魅力の向上</u> を図る。	複合化・多機能化/ 市有財産の活用	複合化・多機能化
学童保育クラブ	地域の拠点となる学校に <u>複合化・多機能化</u> することで、 <u>建物の総量圧縮</u> を図る他、 <u>学校施設の活用</u> により <u>多様な活動が可能</u> となり、 <u>魅力が向上</u> する。	複合化・多機能化	複合化・多機能化
供給処理施設	生活に必要な施設として、効率的かつ適切に維持していく。		
下水道施設	人々の暮らしや衛生環境の確保に直結する施設として、効率的かつ適切に維持していく。		
スポーツ施設	<u>集約化</u> や <u>市有財産等の活用</u> により <u>建物の総量を圧縮</u> しつつ <u>スポーツ活動の場や機会を確保</u> し、 <u>民間ノウハウ</u> を効果的に取り入れることで <u>さらなる魅力向上</u> や <u>運営の効率化</u> を図る。	集約化/ 市有財産の活用	市有財産の活用
レクリエーション・観光施設	事業の見直しや <u>複合化・多機能化</u> 等により <u>建物総量の圧縮</u> を図る一方、 <u>民間や市民等の活力</u> により <u>さらなる魅力向上</u> や <u>運営の効率化</u> を図る。	複合化・多機能化	PPP/PFI 市民・地域連携
産業系施設	事業の見直し、 <u>複合化・多機能化</u> 、さらなる <u>民間活力の導入</u> により <u>施設総量の圧縮</u> を図る他、さらなる <u>収益の増加</u> や <u>運営の効率化</u> を図るとともに <u>賑わいや交流を創出</u> する。	複合化・多機能化	PPP/PFI
駐車場・自転車等駐車場	さらなる <u>民間活力の導入</u> により効率的かつ <u>需要に見合ったサービス提供</u> を行う。		